

数値目標（案）	数値目標（案）に対する意見																				
<p>◆教育に関する項目</p> <table border="1" data-bbox="219 283 1317 835"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>研究科毎の入学定員充足率の3年平均                      [・大学院修士課程及び博士前期課程                      ・大学院博士課程及び博士後期課程]</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>卒業生(就職希望者)の就職率</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>全授業科目での主体的な学修の導入率</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>専任教員のFD参加率</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師国家試験合格率</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>社会福祉士国家試験の在学中合格者数</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>高等学校及び中学校教諭免許の取得件数</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得件数</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>臨床心理士資格及び公認心理師資格取得件数</td> </tr> </tbody> </table>	項目		1	研究科毎の入学定員充足率の3年平均 [・大学院修士課程及び博士前期課程 ・大学院博士課程及び博士後期課程]	2	卒業生(就職希望者)の就職率	3	全授業科目での主体的な学修の導入率	4	専任教員のFD参加率	5	医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師国家試験合格率	6	社会福祉士国家試験の在学中合格者数	7	高等学校及び中学校教諭免許の取得件数	8	幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得件数	9	臨床心理士資格及び公認心理師資格取得件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6～8の数値目標について、特に目標にも計画にも記載していないが、市大としてはこの件数の増を目指していくのか。これにより中期計画が達成されたと言えることができるのか、整合性が不明である（市）</li> <li>・経済団体との意見交換を受けて、産業界の求める人材の育成を測る指標も必要ではないか。例えば、低年次からキャリア形成を意識して学修、活動している学生の割合や、大学ランキングの指標などを参考に、適切な指標を検討していただきたい。（市）</li> </ul>
項目																					
1	研究科毎の入学定員充足率の3年平均 [・大学院修士課程及び博士前期課程 ・大学院博士課程及び博士後期課程]																				
2	卒業生(就職希望者)の就職率																				
3	全授業科目での主体的な学修の導入率																				
4	専任教員のFD参加率																				
5	医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師国家試験合格率																				
6	社会福祉士国家試験の在学中合格者数																				
7	高等学校及び中学校教諭免許の取得件数																				
8	幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得件数																				
9	臨床心理士資格及び公認心理師資格取得件数																				
<p>◆研究に関する項目</p> <table border="1" data-bbox="219 1016 1317 1157"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>科学研究費助成事業採択件数</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>主要学術誌等掲載論文数</td> </tr> </tbody> </table>	項目		1	科学研究費助成事業採択件数	2	主要学術誌等掲載論文数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の論文数はつらくないか。学問領域によってばらつきがある。主要学術誌も文系は解釈によって定義が一律にできないのでは。（南部委員）</li> </ul>														
項目																					
1	科学研究費助成事業採択件数																				
2	主要学術誌等掲載論文数																				
<p>◆社会貢献に関する項目</p> <table border="1" data-bbox="219 1367 1317 1507"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>共同研究・受託研究による外部資金獲得額</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>地域連携事例集の掲載件数</td> </tr> </tbody> </table>	項目		1	共同研究・受託研究による外部資金獲得額	2	地域連携事例集の掲載件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標とするなら外部資金の獲得より、どれだけのことを産学官でやってきたのかということの方が価値があるのではないかと思う。（小笠原委員）</li> <li>・市民公開講座など取り組んできたものがあるのでは。参加者の満足度でもよいのでは。高水準で伸びしろがなくても、継続的に測る指標はあってよいのでは。（南部委員）</li> <li>・市民に対する公開講座に係る数値目標は引き続き持つべきではないか（市）</li> </ul>														
項目																					
1	共同研究・受託研究による外部資金獲得額																				
2	地域連携事例集の掲載件数																				
<p>◆国際化に関する項目</p> <table border="1" data-bbox="219 1688 1317 1829"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>大学間交流協定数</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>海外拠点校数</td> </tr> </tbody> </table>	項目		1	大学間交流協定数	2	海外拠点校数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受入留学生は何%増加を目指すのか、数値目標として掲げてはどうか。（10～15%）（内田委員）</li> <li>・派遣学生は何%増加を目指すのか、数値目標として掲げてはどうか。（内田委員）</li> <li>・交流協定数や海外拠点数が増えても、学生の海外派遣者数が減少しては意味がないので、学生の海外派遣数は項目に残すべきではないか？（皆見委員）</li> <li>・留学生の受け入れ数も項目に追加してはどうか？（皆見委員）</li> <li>・国際共著論文数を項目に追加してはどうか。（市）</li> </ul>														
項目																					
1	大学間交流協定数																				
2	海外拠点校数																				

数値目標（案）	数値目標（案）に対する意見										
<p>◆附属病院に関する項目</p> <table border="1" data-bbox="219 205 1317 390"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>地域医療機関からの紹介患者数</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>新入院患者数</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>臨床研究の新規実施件数</td> </tr> </tbody> </table>	項目		1	地域医療機関からの紹介患者数	2	新入院患者数	3	臨床研究の新規実施件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の経営に係る数値目標について、収入の増加という観点での指標は掲げられているが、支出を減らすという観点での指標も持つ必要があるのではないか（市）</li> </ul>		
項目											
1	地域医療機関からの紹介患者数										
2	新入院患者数										
3	臨床研究の新規実施件数										
<p>◆財務内容の改善に関する項目</p> <table border="1" data-bbox="219 573 1317 800"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>流動比率（流動資産/流動負債）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>当期総損益</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>大学自主財源額</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>一般管理費比率（一般管理費/業務費）</td> </tr> </tbody> </table>	項目		1	流動比率（流動資産/流動負債）	2	当期総損益	3	大学自主財源額	4	一般管理費比率（一般管理費/業務費）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務内容の改善に関する項目はすべて、大学、病院などセグメントに分けて具体的に設定すべきです（皆見委員）</li> <li>・当期総損益は臨時的な外部要因で増減してしまうので、あくまで本業の業績を示す経常損益とすべきではないか？（皆見委員）</li> <li>・大学自主財源額について、自己収入と外部資金が不明確になり問題があると思う。あくまで本業の経営努力の結果でどれだけの収入が獲得できたかを明確にすべき。自主財源額を、自己収入、外部資金、運営費交付金に区分し、さらに項目別に区分して目標を設定すべきであると思われます（原因分析を十分行うには具体的な数値設定が必要）。（皆見委員）</li> <li>・運営費交付金の増額認定について、まずは経営努力による自己収入の改善を求めべきで、経営努力による改善がないまま、運営費交付金の増額を認定することは問題があるように思う。その点も踏まえて、自己収入、外部資金、運営費交付金、経常損益、当期総損益の推移を把握する必要があると思われます（大学と病院は区別して把握）。（皆見委員）</li> </ul>
項目											
1	流動比率（流動資産/流動負債）										
2	当期総損益										
3	大学自主財源額										
4	一般管理費比率（一般管理費/業務費）										
<p>◆その他の業務運営に関する項目</p> <table border="1" data-bbox="219 1249 1317 1339"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>女性上位職教員数</td> </tr> </tbody> </table>	項目		1	女性上位職教員数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性役職者を増やすため、無理に能力のない人まで上げなければならないなどとなってしまうと本末転倒になるので、この辺は少し気を付けた方が良い（小笠原委員）</li> <li>・女性上位職という表現はわかりにくいのではないか。（南部委員）</li> </ul>						
項目											
1	女性上位職教員数										

※ 現在、数値目標の項目は市と法人で協議中のため、その結果に基づいた変更等が行われる場合があります。

### ○その他意見

- ・数値目標を一旦立てると、修正をかけてはいけないという圧迫感があり、それを達成できないと自分たちのペナルティになるという恐怖感があるが、企業は社会情勢の変化などにより下方修正をしているため、そのような考え方で達成できそうな数字で妥協せず、少し過大に考えてほしい（内田委員）
- ・数値に引きずられるということがもしあるとすると、途中で変更するなど考える必要がある（小笠原委員）